

ふちゅうこくさいこうりゅう  
府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ  
日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
たの せいかつ ねが かつどう  
楽しく生活していくことを願って、活動  
をつづ 続けています。

# くろすろ〜ど

## 会報誌

2016/7・8月合併号

★★★★★crossroad★★★★★crossroad

★★★★crossroad★★★★crossroad★★★★

### 〜サロン月間カレンダー7月〜

- サロンでお茶会
  - 7月8日(金) 午前10時30分〜12時  
絵手紙教室 (費用100〜200円)
  - 7月15日(金) 午前10時30分〜12時  
生け花教室 (花代500円) 要予約
  - 7月22日(金) 午前10時30分〜12時  
午後1時〜3時 着付け教室 (費用100円) ダンス教室
  - 7月29日(金) 午前10時30分〜12時  
ダンス教室

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

### ■ボランティア勉強会

テーマ：学習者があきない2時間の使い方  
—6月の勉強会で学習者のホンネを聞いて—  
日時：7月20日(水) 午前10時〜12時  
場所：サロン3階第一会議室

### ■国際ふれあい会

「私のふるさと」を語る  
日時：7月9日(土) 午後2時〜4時  
場所：ルミエール府中 講習会議室  
費用：100円

### ■避難訓練

日時：7月8日(金)  
第一回目：午後部会にて(午後3時〜4時)  
AED体験、心臓マッサージ体験もあります。  
第二回目：夜部会にて(午後8時25分〜9時)

★他部会の方も参加できます。詳細は事務局まで。

### 〜イベント報告〜

#### 「バス研修報告・富士山は何処？」

月曜・午前ボランティア 戎谷智子

2016年度バス研修の目的地は「富士山麓・西湖いやしの里と鳴沢」。学習者・ボランティア総勢37名が参加。5月21日朝8時45分、大国魂神社北側に、大きな赤い観光バスが、で〜んと私達を待っていてくれました。天気予報も「日中は26度 降雨確率0%」。少し眠そうなベトナムの4人組、中国のご夫婦、ファミリーで参加の学習者さん、そしてボランティアの方々が笑顔で次々と集まってくる。出発時間を少し過ぎ、バスは一路富士山を目指す。「大きな富士が私達を驚かせてくれる。初めて見る方々に喜んでもらいたい。世界遺産にもなったし。」と、期待は膨らむばかり。

5月の土曜の中央道は、予想通り渋滞していた。出発してすぐに自己紹介タイムとなった。日本語のレベルはまちまちだが、余裕がある人は、ユーモアも交え、日頃のサロンでの努力と成果が感じられてとても嬉しかった。私は、昨年9月からボランティアを始めた新米だったので、今回は、学習者さん同様、見るもの聞くものが新鮮で、キョロキョロするばかり。日頃あったことのないボランティアの方と学習者さんと触れあい、遠足気分もあり、すぐに皆さんと打ち解けてしまった。全員自己紹介が終わる頃には、もう八王子に。あれ？渋滞終わってた？バスの正面に、大きな富士山が現れだした。それまで絶妙なトークで私達を楽しませてくれていた菅野さんのトーンが少し落ちた。「今日の富士山は恥ず

## 「サロン講演会に出席して」

金曜夜ボランティア 岡千加子

かしがっているようです。私も正面を見た。「えっ？見えない。あんな大きい富士山が消える筈ないでしょ。イルージョンじゃあるまいし。」富士山は、よく見ると、空に白く形どって浮いてるように薄っすらと見えた。こんなに天気がいいのに。典型的な五月晴れなのに…。

11時過ぎ、根場浜(富士絶景スポット)で集合写真撮影。皆、楽しい表情。でも富士山は？11時50分、『西湖いやしの里』に到着。茅葺屋根の集落や、伝統工芸品を作るミニ体験など、子供から大人、外国人の人まで楽しんでもらえる所です。まずはランチのできる休憩所にまっしぐら。皆でお弁当を広げ、それぞれのお国のお料理やお菓子などが飛び交っていました。食後は皆さん思い思いに『西湖いやしの里』を楽しみました。

帰途、『道の駅・鳴沢』に立ち寄り、地元の野菜や名産品のお土産を買ったり、そして有名な湧き水を水筒に入れて持ち帰ったりと、お得感満載のバスツアーでした。

帰りのバスの中でのこと。右側に座っていた私は、窓から、ようやく輪郭がはっきりし美しい流線を見せた富士山を見ることができました。それに気づかないほど、車内では「日本語の学習」に花が咲き、発音の練習や音声学の話で盛り上がっていました。教室だけでなく、こういう場でもお互いに学習ができて、貴重な体験となりました。中央道は渋滞もなく、ほぼスケジュール通りに大國魂神社前に到着。道の駅鳴沢で買った野菜が、2時間後の食卓にのり、お土産話に花が咲きました。これは我が家のことですが。



6月18日(土)13時から2時間にわたり、文化庁の日本語教育専門職北村祐人さんをお招きして、サロン講演会が開催されました。

今回のテーマは、地域日本語教室で実践する「生活者としての外国人のための日本語教育」。ボランティアと公募市民を合わせ58名の方が参加し、和やかな雰囲気です。

では「生活者としての外国人」とは、私たちはどのように捉えているか？私たちは実践のなかで、留学生、就労者など様々な方々と接しています。

「生活者としての外国人」のための日本語教育の目的とは、言語・文化の相互尊重を前提としながら、彼らが日本語で意思疎通を図り生活できるようになること。

具体的な教育目標は、①健康かつ安全に生活できる、②自立した生活、③相互理解を図り、社会の一員としての生活、④文化的な生活…などの定義を確認しました。

次に、私たちが外国人に日本語を教える際、より良い授業内容とするための日本語教育の「カリキュラム案」5点セット、①ガイドブック、②教材例集、③日本語能力評価について、④指導評価について、具体的な説明がありました。

カリキュラム案とは、各地域の日本語教育団体がそれぞれの地域の実情に合わせて、独自のプログラムを作るための材料(=教材)の一覧であり、外国人に出来るようになってほしい生活上の行為を提示したものの。

このカリキュラム案は、文化庁のホームページからも詳しく見ることができます。カリキュラム案で扱う生活上の行為の事例も検索することができるので、活用していきたいと思います。

今回の講演に参加して、文化庁の取り組みを基盤としてそれぞれの地域が実情に合った活動をされているのだと認識しました。

# 世界の文化

あこが ふじさん  
「憧れの富士山」

ブイ ティ ホア(ベトナム)

また、教える側のスキルアップが不可欠であることを実感しました。まだまだの自分ですが、先輩方におしこを教えるを請いながら頑張っていく決意です。

## とうきょうがいこくごだいがく れんけいこうざ ほうこく 「東京外国語大学との連携講座」報告

すい きんごご うしまるみつえ  
水・金午後ボランティア 牛丸三枝

6月17日に外語大との連携講座の交流会に行ってきました。

今回のテーマは「府中市在住の外国人でゴミの分別、出し方について、困っている人、理解出来ない人へのアプローチをどの様にしたら良いか」でした。

最初の1時間は、外語大生の交流会メンバーによる世界のゴミ事情の発表があり、その後あらかじめ作られたグループでのディスカッションという流れでした。

参加人数はサロンから23名、一般市民は外国人も含め数名でした。

世界のゴミ事情の発表では、アメリカ、ニュージーランド、スペイン、メキシコ、中国、韓国、インドネシア、レバノンについてでしたが、インドネシア、レバノン以外の国では、やはりリサイクル、資源の再利用に取り組んでいる印象でした。アメリカは国土が広く、埋立地に不自由しないという点は羨ましいことです。

ディスカッションでは、私のグループは進行係りの外語大生を入れて4名でしたが、生憎外国人はいなかったため、本来のテーマでもある外国人の意見を聞くことは出来ませんでした。

テーマからは少しはずれますが、ディスカッションで知ったことは、世界とまではいなくても、日本国内でも各市町村によってゴミの分別、出し方がずいぶん違うということでした。

外国人の参加が少なく、意見を聞く機会がなく(特に私のグループでは)その点は低調に終わった印象でした。

私が日本へ来たのは去年の6月24日でした。日本に来る前に日本の有名どころへ行きたいと思いましたが、たとえば、北海道や箱根や京都など…。特に富士山に登りたい。日本へ来て以来、日本語を勉強しながらアルバイトをしているのであまり時間がありませんでした。だから、もう一年経ったのに、行きたいところにはまだ行けていません。今回はとてもよかったです。サロンの人たちとバスで富士山麓西湖いやしの里へ行きました。

5月21日に私は朝6時半に起きてお弁当を準備し、8時30分家を出ました。9時に集まる所に着きました。そして9時15分に中央高速道路で河口湖インターから西湖方面へ向かいました。西湖方面へ行くまでにバスの中で皆さん一人一人ずつ自己紹介し、好きな食べ物、嫌いな食べ物について話しました。皆の答えはほとんど寿司や刺身が好きだ。私は生魚が食べられませんが、天ぷらが大好きです。後はとなりに座っている和田泰弘先生と話しながら景色を見ました。和田先生とたくさん話しました。とても楽しかったです。

10時45分にねんばはまで皆さん一緒に写真を撮りました。そして11時30分に西湖いやしの里へ来ました。ここで富士山が見えましたが、その時雲がかかっていて、きれいに見えず、ちょっと残念でした。



いやしの里・根場の古民家前のホアさん



でも、皆さん一緒に村の歴史を見聞して、昼ごはんを食べました。いろいろな国の料理を食べ、様々な話題を話し、よかったです。それから、鳴沢富士山博物館を観光しました。ここで山から出たおいしい水を飲むことができます。それにお野菜やお土産もたくさん売りました。ここにいる人たちは誰でも家族や友達にお土産を買ってくれたと思います。今回のバスツアーはいろいろなことを学び、サロンの人たちとも近くことができるとてもよかったです。

## 私のお国自慢 ~13~

### 「ラオスに来てくださいね！」

チェウンカンリー (ラオス)

ラオスは、人口680万人の小さな国です。東南アジアにあります。首都ビエンチャンには、「タートルアン」というとても有名な建物があり、トップは金でおおわれています。毎年11月には、「タートルアン」というフェスティバルもあります。



「タートルアン」のフェスティバル

「ヴァンヴィエン」は、観光客がカヤックに乗りたり象に乗りたりして、山や川などに囲まれた自然を楽しむツアーです。



ヴァンヴィエン

夏にラオスに来るならば、ルアン・プラ・バンにある「クアンシーの滝」がお薦めです。ジャングルの中に滝があるプールのような場所です。とても気持ちのよい場所なので、観光客にも地元の人々にも人気があります。



クアンシーの滝

ラオスの人たちはとても親しみやすいので、皆さんが来てくれたら、とても歓迎しますよ。

## 勉強会報告

第73回

一学習者のホントの気持ち パート2ー

研修部会 萱生由美子

6月15日は学習者とボランティアの計23名が参加しました。学習者は次の方達です。

- チン キク (中国・女性) (敬称略)
- ニイニイアウ (ミャンマー・男性)
- ゴ ジャリン (中国・女性)
- ウ チョウチ (中国・女性)
- ウ ウェンチー (台湾・女性)
- トウ リナ (中国・女性)

まずは日本語学習歴も様々な学習者が日頃感じているサロンの印象です。

# 皆さんよろしく◇学習者紹介

- ボランティアの先生が優しい。(複数)
- 中国にはサロンのような場所は無いので、とても素晴らしい。
- 日本は静かで、サロンは楽しい。
- 他の国の人と友達になれる。

次に自分の学習内容についてです。

- たまに中国や日本のニュースについて話をするのが勉強になる。
- 世界地図を見ながら話す話題が広がる。
- 2時間の半分は話し、半分は教科書で勉強。
- もっと宿題を出してほしい。(複数)
- 先生が郵便局へ一緒に行ってくれた。

そして、彼等が難しいと感じているのは①音が聞き取れない②デパートなどで使われる敬語や駅でのインフォメーションがわからない③他の外国人と話す機会が無いなどでした。

これに対してボランティアからは、サロンの外で“これは何ですか？”と聞けば日本人は必ず返事をしてくれるから、勇気を出して話しかけようとの励ましの意見が複数ありました。

学習者同士が話す機会をもっと増やすこともサロンの課題です。



参加してくれた学習者6名



胡 少輝さん(中国)



2015年8月太極拳の文化交流のため来日し、本格的に滞在するようになったのは今年の1月からです。サロンには昨年の9月からきています。

昨年の「サロンの集い」で太極拳を披露して下さったので、ご記憶の方も多いと思います。

武漢体育学院大学の大学院で、中国の伝統養生を中心に研究しました。

太極拳や健身気功を広めるために来日し、現在府中と高井戸の教室で教えています。

太極拳や易筋経などのゆっくりとした動きは、胡さんの温和なゆったりとした人柄にふさわしいものに思われます。

日本の武道の文化も勉強して、将来は中国の大学の教授になることが夢なので、筑波大学の博士課程で勉強したいと思っています。

サロンでは先生も親切で楽しく日本語を勉強していますが、日本語はむずかしくて、なかなか上手にならないのがやさしいとのこと。

日本の食べ物ではお寿司が好きで、言葉ははじめて覚えた「こんにちは」が好きです。

中国茶を飲みながら、読書するのが趣味という物静かな好青年です。

サロンで、太極拳や健身気功をボランティアで5月と6月に教えていただきました。

サロンの私達は、もし、胡さんにお時間があればこの先も教えていただけるとうれいな一と思っ  
ています。  
(堤 林)

# 新ボラさん こんにちは!

「こんにちは。よろしくお願ひします。」

げつようごぜん ボランティア たがみえつこ  
月曜午前ボランティア 田上悦子

今日は、私がどうして日本語教師のボランティアをしているのかお話ししたいと思います。

私は時々外国へ旅行に行きます。そして、その国の美味しい食べ物、美しい景色、楽しいお祭り、有名なお芝居などを楽しみます。今まで訪れた場所は、いつも新しい経験をもたらしてくれます。

ただ残念なことに、私はとても忘れっぽいのです。頭の中の記憶が「ごちゃまぜ」になり、建物の名前や遺跡の名前などはすぐに忘れてしまいます。写真を撮りますが、きちんと整理することも「大の苦手」な私は、それが自分のこととはいえ残念で仕方ありません。

でも、ひとつだけ得意なことがあります。それは、その土地で助けてもらって嬉しかった気持ちや、困っていた時にお世話になった人との思い出は絶対に忘れないことです。その時のその人の笑顔も忘れません。

どんな出会いがあったかは、この次にお話しするとして、私も、日本に来る人・日本で暮らしている人に少しでも日本語のお手伝いをさせてもらって、喜んでもらえたらな、という気持ちから、このボランティアを始めました。

私自身が勉強することもたくさんありますが、一緒に楽しく学習していきましょう。

まだまだ「新米」ですが、よろしくお願ひします。

# 投◇稿

たかおさん ひかげざわ てん  
「高尾山・日影沢にて天ぷらパーティー」

きんようごご ボランティア よしむら こ  
金曜午後ボランティア 吉村まみ子

雨もようの四月の朝、ヴェトナムのYさんと日影沢のキャンプ場より10分位上流の壁のない大きな小屋に着きました。秋は山草や山菜、鹿の肉などのバーベキューをします。

まず火を作ります。古木を燃やしてお湯を沸かしたり、あくの強い野菜を下茹でします。こんにやく芋をすりおろし、玉にして茹でます。水に冷やせば出来上がりです。

皆さん、次の山菜、野草をいくつか知っていますか。みつ葉、もみじかて、なかはのすみれ、からすのえんどう、かそ、はないかだ、ゆきのした、はるじおん、たんぼぼ、どくだみ、二輪草、いたどり、あおき、のぶき、かきとうし、のびる、こんにやく、竹の子、しいたけ—これだけを天ぷらにして食べました。それぞれを舌にのせて、じっくり味わい、皆で感想を話し合いながら楽しみました。例えば、どこにでも咲いているからすのえんどう、たんぼぼ、いたどりなど、あおき、二輪草の花が食べられるという驚き。そして、こんにやくは、何と表現してよいのか、とてもおつな味わいだったことなどなど。

新緑の木々に囲まれた、この静寂のなかで、山菜の天ぷらの揚げたてを食する、なんとぜい沢な時間なのだろうと、何かに感謝をする気持ちになりました。天ぷらを揚げたり、片付けたりと、よく働いたYさん、お疲れさまでした。

秋には、バーベキューを楽しみましょう。



## 「日本語珍プレイ・アラカルト」

金曜夜ボランティア 和田泰弘

『三省堂国語辞典』の編纂者としても知られる見坊豪紀さんの『ことばのくずかご』（筑摩書房）に倣い、私家版「ことばのくずかご」なるノートを作り、巷で拾った気になる言葉をせっせと書き留めています。

今回は、その中から、いつか暑さを忘れさせてくれる珠玉(?)の「ことば」を紹介します。

\*TBS ラジオ朝番組「伊集院光とらじおと」よりー  
日本語教室で教えている教師の便りを紹介。  
「生徒に質問すると、座ったまま答える生徒が多いんです。ある日の授業で生徒に質問し、『立って言うてください』と言ったら、その生徒は、座ったままこう返答しましたー『たっ!』。  
このケース、ほかの学校でもあると聞きます。」

\*外資系映画会社で同僚だったオーストラリア出身のMくん(日本語は上級レベル)と私の会話ー

M:「けさのすき焼きは、おいしかったです。」  
和:「朝からすき焼きとは、ずいぶん豪華だね!」  
M:「いいえ、昨晚、新橋の『けさ』で食べたんです。」  
和:「新橋の…ああ、それは『けさ』じゃなく、『今朝(いまあさ)』と云うんだよ。」

\*本郷にある映画会社に勤めていたころの行きつけの寿司屋での、店主と客の会話ー  
客:「ちょっと足りないから巻物でももらおうかな…」  
店主:「じゃあ、左巻きでもいきますか。」  
客:「?!」

\*NTV『ケンミンショー』の沖縄特集よりー  
具志堅用高氏の母校を訪ね、体育館での彼へのインタビュー。  
アナ:「具志堅さん、母校の伝統は何ですか?」  
具:「(じっと天井を見ながら)う～ん、ナショナルだね!」  
アナ:「さすが、愛校心ですね!」

具:「(暫しの沈黙のあと)いや、ナショナルだよ、あの電灯…」

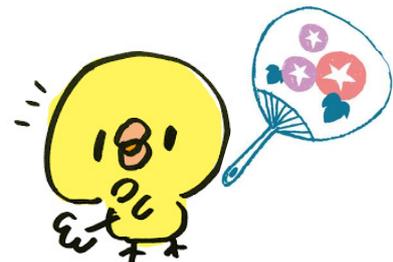
注:今は社名が『ナショナル』から『パナソニック』に変わっています。

\*ある小学校教師のエッセイよりー  
「二階から目薬」という諺は、不可能に近いくらいむずかしいことを意味しますが、こんな余話を紹介。  
「国語の授業でこの諺を取り上げたら、生徒たちが実験してみようということになった。実験は見事成功。以来、このクラスでは、『二階から目薬』は、『やればできる!』という意味になった。」

\*朝日新聞の記事よりー  
難関の日本語能力試験に合格し、日本での介護士の夢を実現したインドネシア女性が、記者の取材に答えて。  
記者:「日本での生活は慣れましたか?」  
女性:「カレができました。」  
記者:「ボーイフレンドができたんですか、よかったですね。」  
女性:「いいえ、カレーができるようになったんです。」

\*ラジオニュースと新聞記事よりー  
朝、夢うつつでラジオを聞いてたら、こんなことばが聞こえてきたー  
「トヨタが、ゴキブリのゲンエキ…」  
ゴキブリから抽出した原液で、トヨタが何か新しいエネルギーを開発したらしい…。  
寝床から出て、新聞をめくっていると、  
「トヨタ、5期振りの減益」  
という記事が出ていた。

暑さは凌げたでしょうか?それでは、「日本語珍プレイ」、またの機会をお楽しみに!



# みんなの広場

## へんしゅうこうき ～編集後記～

### たいきょくけんきょうしつ 「太極拳教室」

学習者、胡少輝さんのご厚意により、太極拳教室が5月25日託児室にて行われ、13人の方が教えていただきました。健身気功の八段錦は動作が8つあり、それぞれ異なっています。

第1は組んだ手を胸の位置から頭の上高くまで上げ、身体を伸ばします。

第2は足を広く開き、弓を射る時の形を左右交互にします。

普段使わない筋肉を伸ばし、ゆっくりの呼吸と動作が心を静め気を体の中に行き渡らせます。

続きは6月22日に教えていただきました。今後毎月1回教えていただけそうですので、興味のある方ぜひ参加してください。(編集部)

### なつやすし 「サロン夏休みのお知らせ」

日本語学習会は7月15日(金)が最終日です。サロンは7月16日(土)から9月1日(木)まで夏休みになります。新学期は9月2日(金)の学習会から始まります。

夏休みの間、サロン事務局は月～金の午前10時から午後4時まで、隣の第1会議室は月・水・金の午前10時から午後4時まで、それぞれ学習で使うことができます。是非、ご利用ください。(事務局)

### えてがみ 絵手紙



ヴァレリー (シンガポール)



ポンチャン (ラオス)

先日、府中市美術館市民ギャラリーで植物画展を見た。二つの同好会の総勢30名の方が全120点の精密な作画を出展。わがサロンのボランティア2名の方の作品も出品されていた。

作品は想像以上の緻密さで、草や花や木や野菜や果物が、丁寧に丹念に描かれていた。ガラス器や水などの「演出物」を一切あしらわず、ひたすら植物だけを描いているところもむしろけれんみがなく好感をもった。樹々に囲まれた気持ちの良い美術館に似合う、すがすがしい絵画展だった。(坂倉)



【編集】 会報部会/ 安島、坂倉、篠塚、進藤、高柳、堤林、増田、和田

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail : [salon@fuchukokusai.gr.jp](mailto:salon@fuchukokusai.gr.jp)

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

